

2006 年度 WG 活動成果報告

(2007 年 2 月 11 日作成)

WG 名	復興調査指針作成 WG		主 査 名：村尾 修 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会	災害委員会		委員長名：林 静雄
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	・学会としての災害後復興調査指針を作成する。 ・本 WG メンバーの多くが兼任している日本都市計画学会「復興調査活動指針案検討分科会」にて、2006 年度に同指針が完成する予定である。その完成をみて、他学会との関係をふまえながら、2007 年度に建築学会としての指針を作成する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査 村尾修(筑波大学) 委員 池田浩敬(富士常葉大学), 村上正浩(工学院大学), 加藤孝明(東京大学), 市古太郎(首都大学東京)		
2006 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：無 HP アドレス：	

項 目	自己評価
WG 開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 予定どおり, 都市計画学会の指針が完成するため良好 2. これに基づき, 来年度の活動にとりかけられる
WG 活動の問題点 ・課題	1. 都市計画分野だけではなく, 他の分野(構造系, 農村系, 建築計画系など)との連携が期待されているが, その議論の方向性がまだ定まっていない。